

# 上野村の家計簿

## 平成19年度 決算報告

### 上野村の家計事情

財政の健全化を図りながら、自立した村づくりを積極的に目指しました。

平成19年度決算が9月17日より開催された第3回村議会定例会において認定されました。平成19年度の一般会計決算額は、歳入総額42億5,506万円、歳出総額41億6,404万円で、対前年度比率は2・1%の増となりました。

神流川発電所の固定資産税収入により、平成18年度より歳入が増加しましたが、その歳入も年々大きく減少していきます。平成19年度の固定資産税収入は25億7,895万円、前年度と比べ1億5,770万円のマイナスとなっています。又、地上デジタル放送への対応や小学校建設等々大きな事業も控えており、依然厳しい財政状況であります。

村では村民の皆さんに納めていただいた大切な税金等を効果的に活用するため、高齢化社会に向けた地域福祉対策や生活基盤の整備、少子化や後継者関連対策、産業振興対策、雇用対策等に重点配分を行い、施策の充実を図るなど限られた財源の中でさまざまな事業を進めています。平成19年度の上野村の家計事情について、あらましをお知らせいたします。



### 村税の徴収実績(現年課税分)

(単位:円)

項目	調定額	収入済額	徴収率
村民税	51,204,006	49,809,342	97.28%
固定資産税	2,580,024,300	2,578,945,900	99.96%
軽自動車税	2,811,800	2,733,200	97.20%
村たばこ税	7,175,308	7,175,308	100.00%
入湯税	1,911,500	1,911,500	100.00%
合計	2,643,126,914	2,640,575,250	99.90%

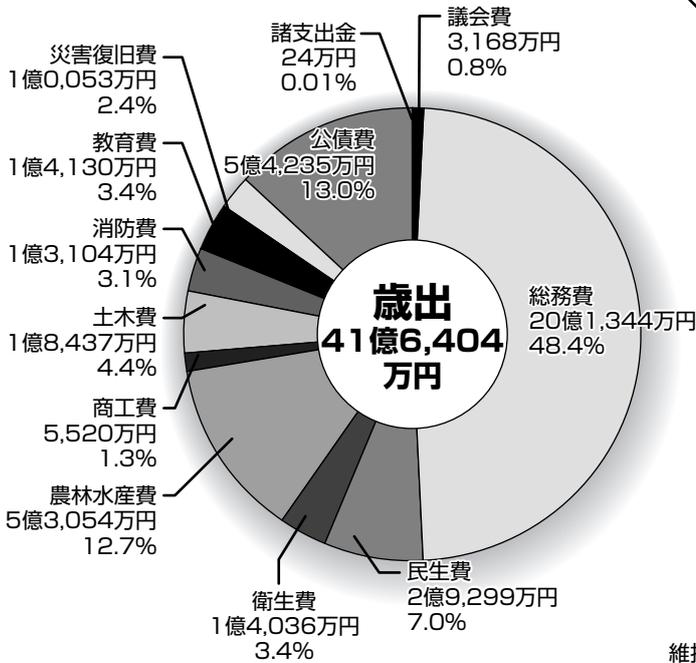
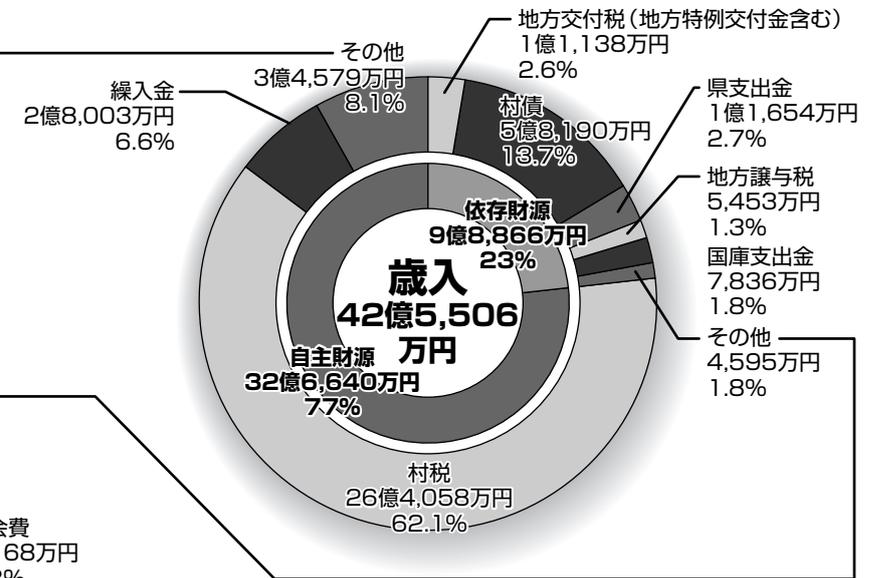
### 各特別会計決算状況

会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	2億0,786万円	2億0,472万円	314万円
へき地診療所事業	1億1,688万円	1億0,177万円	1,511万円
簡易水道事業	2,969万円	2,447万円	522万円
生活排水処理事業	3,887万円	3,609万円	278万円
老人保健事業	2億2,753万円	2億2,528万円	225万円
介護保険事業	2億3,398万円	2億2,732万円	666万円

# お知らせします。

財産収入	164,804,211円
諸収入	113,958,148円
使用料及び手数料	32,104,692円
繰越金	32,011,963円
分担金及び負担金	2,914,772円
寄付金	0円

自動車取得税交付金	28,538,000円
地方消費税交付金	15,134,000円
利子割交付金	548,000円
配当割交付金	530,000円
株式等譲渡所得割交付金	223,000円
交通安全対策特別交付金	983,000円



### ★自主財源とは？

地方自治体(上野村)が自主的に収入できる財源で、地方税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入などです。

### ★依存財源とは？

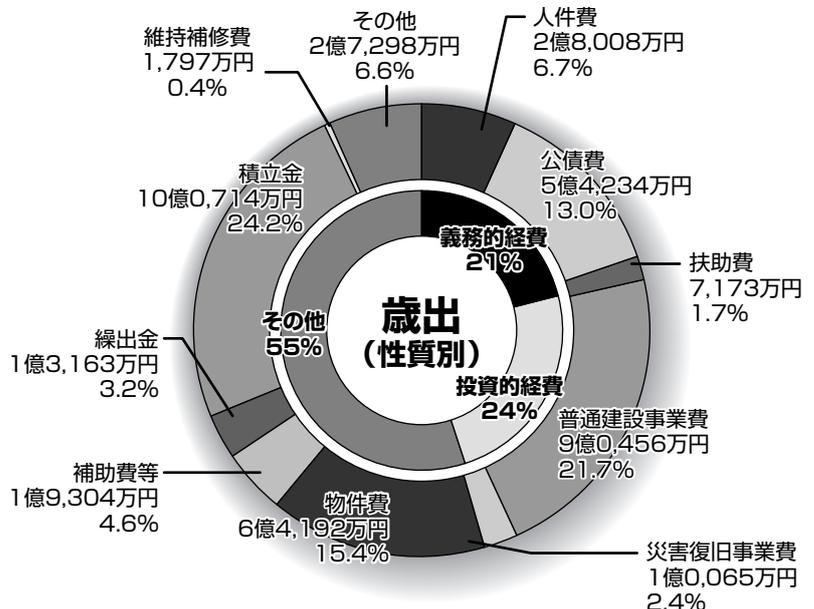
国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入をいい、地方交付税、国県支出金、地方債などです。

### ☆義務的経費とは？

地方公共団体(上野村)の歳出のうち、その支出が義務づけられ任意に節減できない経費をいい、人件費、扶助費、公債費です。

### ☆投資的経費とは？

地方公共団体(上野村)の歳出のうち、その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等が資産等として将来に残るものに支出される経費をいい、普通建設事業費等です。



# 平成19年度の主な事業

- 振興発展基金積立・・・・・・・・・・5億8,985万円
- バス運行委託事業・・・・・・・・・・557万円
- うえのタクシー運行事業・・・・・・・・1,154万円
- 移動通信用鉄塔施設整備事業・・・・・・・・1,509万円
- 多野藤岡地域代替バス運行事業・・・・・・・・2,024万円
- 後継者定住促進事業（結婚祝金）・・・・・・・・80万円
- 少子化対策事業（誕生祝金・養育手当）・・・・・・343万円
- 集落活性化推進事業補助金・・・・・・・・551万円
- 中学生海外視察派遣事業・・・・・・・・698万円
- インターネット接続事業・・・・・・・・652万円
- 配食サービス事業・・・・・・・・・・1,047万円
- 老人住宅改造補修費補助事業・・・・・・・・197万円
- 高齢者特別給付金支給事業・・・・・・・・1,280万円
- 福祉医療事業・・・・・・・・・・1,178万円
- 高齢者生活福祉センター委託事業（いこいの里）1,026万円
- 福祉作業所運営事業・・・・・・・・・・148万円
- 患者輸送車運行委託事業・・・・・・・・302万円
- 村民健康管理事業（健診等）・・・・・・1,695万円
- ごみ及びし尿処理事業・・・・・・・・・・3,019万円
- 村内美化推進事業・・・・・・・・・・999万円
- 農業振興事業・・・・・・・・・・3,705万円
- 農産物生産奨励補助事業・・・・・・・・258万円
- 山村広場管理事業・・・・・・・・・・284万円
- 中山間地域等直接支払制度交付事業・・・・・・185万円
- 有害鳥獣防除対策事業・・・・・・・・・・234万円
- 産業振興対策事業・・・・・・・・・・8,435万円
- ほのぼのの街道森林クリーンアップ事業・・・・・・857万円
- 林道整備事業（6路線）・・・・・・・・・・6,859万円
- 林業作業道総合整備補助事業・・・・・・・・1,900万円
- 林道維持事業・・・・・・・・・・715万円
- 水源地域公益保全林整備事業・・・・・・616万円
- 緑のふるさと協力隊対策事業・・・・・・・・130万円
- 森林整備地域活動支援交付金事業・・・・・・737万円
- 商工振興補助事業・・・・・・・・・・238万円
- 花の里公園整備事業・・・・・・・・・・580万円
- 砥根平周辺観光施設整備事業・・・・・・1,694万円
- まほーばの森キャンプ場整備事業・・・・・・987万円
- 村道維持事業・・・・・・・・・・3,532万円
- 村道整備事業・・・・・・・・・・4,503万円
- 村営住宅建設事業・・・・・・・・・・7,254万円
- スクールバス運行委託事・・・・・・・・464万円
- かじかの里学園運営事業・・・・・・・・2,886万円
- 社会教育事業・・・・・・・・・・192万円
- 文化財保護事業・・・・・・・・・・85万円
- 旧黒澤家住宅展示事業・・・・・・・・237万円
- 保健体育事業・・・・・・・・・・186万円
- 学校給食事業・・・・・・・・・・1,066万円
- 災害復旧費・・・・・・・・・・1億0,053万円

別表1 村債の状況

(単位:千円)

区 分	19年度発行額	19年度元利償還金	19年度末現在高
一般公共事業債		2,238	0
一般単独事業債	53,300	139,198	557,018
学校務教育施設等整備事業債	1,600	1,405	12,806
災害復旧事業債	11,500	17,682	64,666
一般廃棄物処理事業債		8,332	42,345
過疎対策事業債	507,100	324,810	3,005,964
施設整備事業債	8,400		8,400
財源対策債		650	5,175
臨時財政特例債		2,476	0
公共事業等臨時特例債		0	0
調整債		0	0
臨時財政対策債		25,655	529,127
県貸付金(特別過疎)		19,899	65,575
その他		0	0
合 計	581,900	542,345	4,291,076

## 村債と基金の状況

平成19年度の村債は一般会計で5億8,190万円でしたが、後年度において交付税算入のある有利な村債です。内容としては、主に過疎対策事業債、地域活性化事業債、災害復旧事業債です。

村債の借入については、事業を厳選し、後年度において村民の過重な負担を強いることのないように慎重に対応しています。

村債の借入状況と現在高は、別表1のとおりです。また、村の基金の積み立て状況は、別表2のとおりです。

## 基金とは？

特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は、定額の資金を運用するために設置される資金、又は、財産のこと。

○基金(預金)村民一人当たりの現在高  
**3,948,370円**

○村債(借金)村民一人当たりの現在高  
**2,998,655円**

(平成20年3月31日現在人口**1,431人**)

## 別表2 基金の状況

(単位:千円)

区 分	19年度末現在高
財 政 調 整 基 金	624,514
減 債 基 金	1,064,345
地 域 福 祉 基 金	96,000
高 齢 者 集 合 住 宅 基 金	20,000
かじかの里づくり事業基金	4,800
ふるさと水と土保全対策基金	10,000
地 域 づ くり 推 進 基 金	299,355
地 域 振 興 基 金	7,313
村 営 住 宅 整 備 基 金	163,878
農 山 漁 村 ふ る さ と 基 金	85,000
国 土 保 全 基 金	1,539,177
農村多元システム施設維持管理基金	18,110
人 材 育 成 支 援 基 金	37,490
土 地 開 発 基 金	89,761
振 興 発 展 基 金	1,590,375
一 般 会 計 計	5,650,118
国民健康保険財政調整基金	95,698
へき地診療所財政調整基金	95,188
簡易水道財政調整基金	32,551
生活排水処理財政調整基金	3,698
特 別 会 計 計	227,135
合 計	5,877,253

## 平成19年度 上野村の健全化判断比率等について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、上野村の平成19年度健全化判断比率及び資金不足比率を次のとおり公表します。

### ○健全化判断比率

区 分	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	(赤字なし)	15.00%
連結赤字比率	(赤字なし)	20.00%
実質公債費比率	10.7	25.00%
将来負担比率	(将来負担なし)	350.00%

### ※健全化判断比率の指標について

- 実質赤字比率  
一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標。
- 連結実質赤字比率  
全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標。
- 実質公債費比率  
一般会計等の実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標。
- 将来負担比率  
一般会計等が抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標。(将来負担額からは基金等の特定財源が控除されるため、現在の村の状況は、基金の積立が多いため将来負担が算定されない状況となっています)

### ※資金不足比率について

- 資金不足比率  
各公営企業の資金不足が、事業の規模に対してどのくらいの割合になるかを示す指標。

### ○資金不足比率

特 別 会 計	資金不足比率	経営健全化基準
簡易水道事業	(資金不足なし)	20.00%
特定地域生活排水処理事業	(資金不足なし)	20.00%